

ピアチェック簡素化

三栖日事連会長が要望

設計総会
建築連
自民連



自民党建築設計議員連盟
(額賀福志郎会長)の総会が

19日、東京・永田町の自民党本部で開かれ、額賀会長、渡海紀三朗事務局長、和泉洋人国土交通省住宅局長、小川富由官房審議員、三栖邦博日本建築士事務所協会連合会会長らが出席し、改正建築基準法、改正建築士法の運用で日事連側の要望について意見交換した。写真。

三栖会長が要望したのは、
①ピアチェック(構造計算適合性判定)の対象建築物の高さ、階数などによる限定②設備設計一級建築士制度などの円滑な施行③新業務報酬基準告示の実効性確保のための措

置の徹底——の3項目。

ピアチェックの対象建築物については、高さや階数の低いものでも、いわゆるルート2以上の構造計算をするものすべてが対象になっており、小規模な建物は確認申請だけで済ませるなどの簡素化を要望した。設備設計一級建築士については、全国の遍在状況への対応などを求めた。新業務報酬基準は、強制力がないため実効性の確保が課題。公共事業の設計業務の発注では基準を順守し、「依頼度」を

廃止すること、民間発注者への周知徹底を要望した。

意見交換では、構造設計一級建築士、設備設計一級建築士のいない事務所には発注しない自治体があることが問題とされ、対策が必要であることを確認した。渡海事務局長は「日事連の方で、地方の実態を調べて報告してほしい。実態を国交省に伝えて対応してもらいたい」と述べた。さらに渡海事務局長は「ピアチェックは細かいところまで決めすぎたきらいがある。

類型化して簡素化できるものはすべきた」と指摘した。三栖会長は「景気が回復してきたらまた、構造設計者の不足が顕在化することが懸念される。ピアチェックの簡素化はぜひお願いしたい」を強調した。

額賀会長は「基準は現場からつくるのが大切だ」と述べた。逢沢一郎議連幹事長は「地元の岡山に帰ったら、日事連の要望にもあったピアチェックが細かいことに困っている声を聞いた。『依頼度』

というのがあることは知らなかった。国交省の営繕部が廃止をするという話はいいいことだと思つ」と話した。